

お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



禁止

器具の改造や指定部品以外の交換はしない。
(火災・感電・落下の原因)

器具やランプを布や紙などで覆わない。
(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)



禁止

器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。
(火災・感電の原因)

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。
(火災・感電の原因)

ランプに塗料などを塗らない。
(ランプが過熱・破損してけがの原因)

ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。
(ランプが破損してけがの原因)



禁止

器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。
(過熱して火災の原因)



厳守

明るく安全にご使用いただくために6ヶ月に1回の保守・点検を行う。

点検

- 6ヶ月に1回外観及び機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。 [消防庁告示第3号と第14号]
- 24時間以上充電後、非常点灯持続時間が60分以下となったら蓄電池を交換する。

- 消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。 [消防法施工規則第31条]
- 器具設置後の点検は必ず行ってください。
(充電インジケータの点灯確認、点検スイッチ動作確認。)

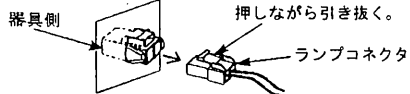
ランプの交換・器具の清掃

警告

電源を切ってから行う。(感電の原因)

ランプ交換

- (1) 枠を引き出し、本体から取り外す。
- (2) ランプコネクタを外し、ランプホルダーからランプの両端部を持って外す。
- (3) ランプ交換後、ランプホルダーに取付け、ランプコネクタを接続し、必ずリセットスイッチを押す。
- (4) 枠を本体に取付ける。



清掃

- 柔らかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
- シナー、ベンジン、みがき粉やたわし、化学雑巾、熱湯などは使用しないでください。

適合ランプ CF220T4EN-M

注意

- 点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。(高温のためやけどの原因)
- ランプはランプホルダーに確実に取付ける。
(取付けが不完全な場合落下の原因)
- 使用済みのランプは不用意に割らない。
(ガラスが飛散してけがの原因)
- ランプの電線を引っ張らない。
(ランプ破損の原因)

警告

器具・ランプを水洗いしない。(火災・感電の原因)

MITSUBISHI

E767Z192H53

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。

三菱長時間(60分)定格型避難口・通路誘導灯

[蓄電池内蔵形]

形名 KSH2751H (B級BL形・片面灯) (公共施設: SH1-FSP20-BL60、ST1-FSP22-BL60、SH1-FBF20-BL60、ST1-FBF22-BL60)

KSH4752H (B級BH形・片面灯) (公共施設: SH1-FSP20-BH60、ST1-FSP22-BH60、SH1-FBF20-BH60、ST1-FBF22-BH60)

取扱説明書

施工者さまへ

- 施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

図記号の意味は次のとおりです。

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、△警告、△注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。



絶対に行わないでください。



必ず指示に従ってください。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



禁止

引火する危険のある雰囲気では使わない。
(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。)(火災の原因)

器具取付けの際は電線を挟まない。
(絶縁不良により感電・火災の原因)



禁止

配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。
(絶縁破壊により感電・火災の原因)



厳守

施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

高温(35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所では使わない。(落下・感電・火災の原因)

さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。(劣化による落下の原因)

器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)

風呂場など水や湿気の多い場所、および雨水のかかる場所では使わない。(水気・湿気が入り火災・感電の原因)



禁止

蓄電池を通電せずに電池コネクタを接続したままで放置しない。(蓄電池の寿命低下・漏液の原因)

表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。(火災・感電の原因)

器具のバックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。(絶縁不良により感電・火災の原因)

狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は放熱を妨げない。(器具は過熱して火災の原因)

お願い

- インバーター器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- 器具の周辺温度が5～35℃の範囲で使用してください。
- 直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下することがあります。)
- 24時間以上充電していないと、ランプが正常時に点灯しない場合(立消え、点滅、点灯時間が短い)がありますのでご注意ください。

定格

	常時		非常時	
	KSH2751H	KSH4752H	KSH2751H	KSH4752H
使用ランプ	CF220T4EN-M		CF220T4EN-M	
	1灯	2灯	1灯	2灯
定格電圧	AC100V		密閉形 Ni-Cd 蓄電池 4.8V	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 4.8V
入力電流	0.14A	0.21A		
入力電力	6.2W	10.4W		
定格周波数	50/60Hz		1200mAh	2500mAh

異常時の処置

警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源を切る。(火災・感電の原因)

煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先



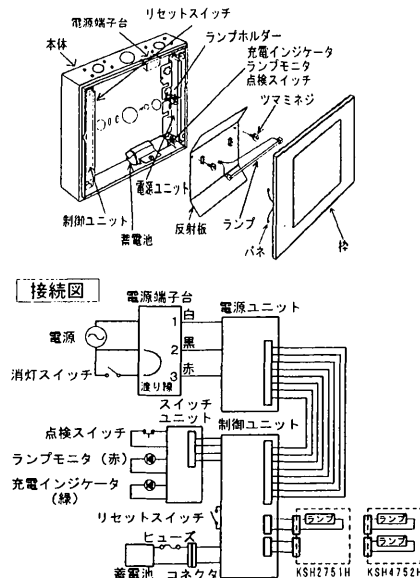
三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729(営業統括部)
☎(0467)41-2773(品質保証部サービス課)

各部のなまえと取付けた

警告

器具の取付けは取扱説明書に従い行う。(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)



接続図

1 取付前の確認

- 器具質量 (2.7 kg) に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。

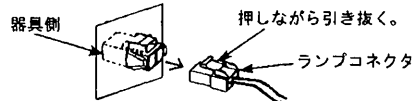
警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。(落下の原因)

- 誘導灯器具と点滅装置または点滅形誘導音付加装置との組合せ設置時は、側面どうしの電源接続は出来ないので、各々に電源を供給する。

2 器具本体を取付ける。

- (1) 枠を本体から引き出しバネを押し縮めバネ受けから外す。
(2) ランプコネクタを外す。



- (3) ランプをランプホルダーから外す。

警告

ランプの両端部を持って外す。(ランプ破損の原因)

- (4) ツマミネジを外し、反射板を外す。
(5) 使用する電源穴・取付穴のノックアウトを外す。
(6) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
(7) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
(8) 点検スイッチが右下になるように本体を確実に取り付ける。

(天井直付け・ボックス取付けの場合)

- 天井取付金具TK271(別売)を取付け、本体を袋ナット(2個)で固定する。

- ボックスに取付ける場合は器具用カバーを使用してください。
丸穴カバーは使用できません。

丸穴カバー

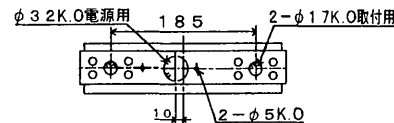
器具用カバー
(スイッチカバー)

注意

袋ナットは増締めする。(不完全な取付けは落下の原因)

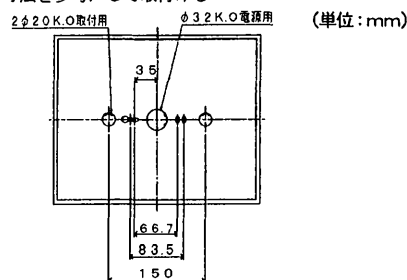
(天井直付け・ボルト取付けの場合)

○下図の寸法を参考にして取付ける (単位: mm)



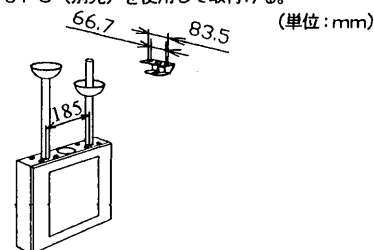
(壁付けの場合)

○下の寸法を参考にして取付ける



(天井吊り下げの場合)

○吊具C18PC(別売)を使用して取付ける。



警告

取付けが不完全な場合落下の原因

3 電源線を電源端子台に接続する。

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
(2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。
(D種(第3種)接地工事が必要です。)
○電源端子台の送り容量は20Aです。
○適合電線: φ1.6mm単線 φ2.0mm単線

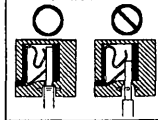
警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。

(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

接続状態



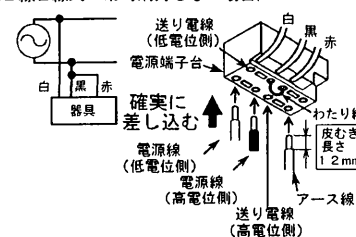
警告

送り配線は誘導灯専用とし、容量を確認して接続する。
(容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

警告

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ連結端子の奥まで差し込む。
(差し込み不十分は接触不良により火災の原因)

(単相2線2線式・常時消灯しない場合)

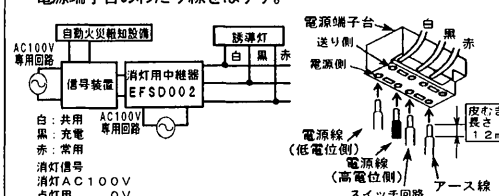


警告

分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない。

(単相2線3線式・平常時消灯する場合)

電源端子台のわたり線をはずす。



誘導灯用信号装置等を用い自動火災報知設備の動作と連動させてください。

- 電源線接続の連結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

■常時消灯する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。

■誘導灯消灯システム使用の場合は信号装置取扱説明書を参照してください。

4 蓄電池のコネクタを接続する。

- (1) コネクタを確実に接続する。
○通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると蓄電池が過放電します。
○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。

5 反射板を取付ける。

- (1) ツマミネジで反射板を取付ける。

6 ランプを確実に取付ける。

- (1) ランプをランプホルダーに取付ける。

注意

ランプは両端を持って脱着する。(ランプ破損の原因)

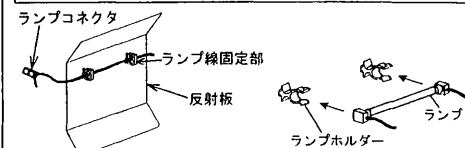
- (2) ランプコネクタを接続する。

電源を通電する前は、ランプは点灯しません。

- (3) ランプ線を反射板のランプ線固定部に通す。
(4) ランプ線がランプの前に出ないように線を通す。

注意

配線の固定を確実に行う。(表示面に影の発生する原因)



7 表示板を取付ける。

- (1) 表示板を枠の上下の金具に入れる。
(2) 表示板止めを押し曲げる。

表示板止め

押し曲げる。(2ヶ所)

表示板

押し曲げる。

8 枠を取付ける。

- (1) バネを押し縮め、バネ受けに引っかける。
(2) 枠全体を静かに押し付ける。

警告

取付けが不完全な場合落下の原因

「ランプについて」

○暗い所で放置すると、周囲が暗い状態(数ルクス以下)では点灯しにくい場合がありますが、周囲を明るくすれば点灯します。

○周囲温度が5℃以下の場合、ランプの輝度、寿命が著しく低下します。

○多灯用のランプを交換する時は、全てのランプを一齐に交換してください。

「ランプモニタ」について

ランプモニタ(赤)

赤色のランプモニタは「ランプの寿命」をお知らせするものです。

ランプの累積点灯時間が60,000時間(ランプの寿命は約60,000時間です)に達すると赤色に点灯しますので、新しいランプと交換してください。

(注) ランプ外れ等の異常時にも点灯します。

この場合は、ランプ破損、コネクタ外れがないか確認してからリセットスイッチを押してください。

充電インジケータ(緑)

緑色のインジケータが点灯していれば、内蔵蓄電池が充電している状態です。